

登録コード	L1640400	開講年度	2026				
担当教員	松本 昇 他			副担当	今井 章		
授業科目	社会心理学発展演習 (心理実習)						
英文授業名	Social Psychology: Advanced Seminar						
授業タイトル	心理実習						
単位数	2	対象学生	公認心理師資格履修者	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本実習では、保健医療分野の施設として医学部附属病院で、見学を中心とした実習を行う。施設を実地に訪ね、実習指導者による講義を聴講し施設内を見学する。						
授業計画	第1週 ガイダンス 第2 - 14週 事前学習と事前指導、医学部附属病院での実習(数日)、事後学習(ふりかえり)と事後指導 第15週 まとめと授業アンケート 定期試験なし 実際の実習は夏期休業期間を利用して行う予定であるが、実習先の事情やその他の状況により実習期日、予告した内容等を変更する場合がある。						
成績評価の方法	実習参加前の事前学習によるレポート(3割)、実習への参加によるレポート(5割)、実習参加後の事後学習によるレポート(2割)を総合して評価する。 なお、単位取得のためには、医学部附属病院での実習にすべて参加する必要がある。						
成績評価の基準	事前学習によるレポート、実習への参加によるレポート、実習参加後の事後学習による3つのレポート全てが、卓越して当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「卓越している」、優れて当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「優れている」、的確に当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「やや優れている」、基本的な当該施設の概要と実態を捉え、またその問題点とを整理できていれば「その水準にある」と評価される。						
事前事後学習の内容	事前学習として、各自が当該施設の沿革、役割、勤務内容等について調べ学習を行う(6時間)。事後学習として実習で得た体験および新たな視点について、ふりかえりと体験の共有を行う(8時間)。						
履修上の注意	心理学・社会心理学コースの4年生であり公認心理師の資格取得を目指す学生で、4年次までに受講すべき必要科目を履修して単位を修得した学生にのみ受講を認める。						
質問、相談への対応	火曜日の12:20～13:20のオフィスアワーにて対応する。極力、事前にメール(noborum@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。						
教科書	使用しない。事前、事後指導時に適宜、資料などを配付する。						
参考書	事前、事後指導時に適宜紹介する。						